



第1部

司馬遼太郎『竜馬がゆく』より
〈門出の花〉〈脱藩〉〈勝海舟〉
〈秘密同盟〉〈伏見寺田屋〉

第2部

〈霧島山〉〈大政奉還〉〈竜馬暗殺〉
伍芳 ミニ・コンサート
司馬遼太郎「21世紀に生きる君たちへ」
*尾上松也によるトークあり



言の葉コンサート
尾上松也「竜馬がゆく」
悠久の音色で聴く司馬遼太郎の世界

華麗で秘めやかな伍芳の古箏の音色とともに、
巨匠・司馬遼太郎が描く竜馬の波乱万丈歴史ロマンを
尾上松也が語る。



《坂本龍馬湿板写真》（複製）原本：高知県立歴史民俗資料館蔵（部分）



尾上松也（朗読）
ウーファン
伍芳（古箏）

2017

8/10 木

19:00 開演（18:30 開場）

静岡音楽館AOIホール（8F）

全指定 ¥4,000（静岡音楽館倶楽部会員¥3,600）

22歳以下
¥1,000

主 催：静岡音楽館AOI 指定管理者（公財）静岡市文化振興財団
共 催：静岡市美術館

静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation



尾上松也 (朗読) Matsuya ONOE (Narration)

1985年、東京生まれ。父は6代目尾上松助。90年、歌舞伎座「伽羅先代萩」鶴千代にて2代目尾上松也を名のり初舞台、以後子役として活躍。近年では、「仮面手本忠臣蔵 五・六段目」早野勘平、「義経千本桜」佐藤忠信実演は源九郎狐、「弁天娘女男白浪」弁天小僧菊之助、「与話情浮名横櫓」切られ与三郎など、次代を担う花形俳優の一人として古典の大役に次々と挑戦している一方、新作歌舞伎「あらしのよるに」めい、「幻想神空海」橋遼勢では存在感のある演技をみせた。2015年からは、若手歌舞伎俳優の登竜門である「新春浅草歌舞伎」に中心メンバーの一人として毎年出演している。2009年には歌舞伎自主公演「挑む」を主催。同公演は、2010～16年、年1回のペースで継続している。歌舞伎以外でも「ヒポクラテスの誓い」(WOWOW、2016)古手川和也、大河ドラマ「おんな城主 直虎」(NHK、2017)今川氏真、「尾上松也の古地図で謎解き! にっぽん探究」(BS11、2015～)、日経スペシャル「夢織人」(テレビ大阪、BSジャパン、2016～)案内人、舞台「エリザベト」(2015年)ルキーニ、「狸御殿」(2016年)狸吉郎など、活躍の場を広げている。国立劇場優秀賞(2013)、第37回松尾芸能賞新人賞(2016)、第33回浅草芸能大賞新人賞(2017)受賞。



伍芳 (古筝) WU-FANG (Chalinese Koto)

中国・上海生まれ。9歳より中国古筝の第一人者、王昌元氏より手ほどきを受ける。その後、中国で最も離間といわれる上海音楽学校に入学。古筝を中心にピアノや音楽の基礎理論などを幅広く学ぶ。1990年7月、同校を首席で卒業し、来日。96年9月に東芝EMIよりデビュー。日本における現在の中国楽器ブームの先駆けとなる。南こうせつ、東儀秀樹、溝口肇など数々のアーティストと共演。「トップランナー」「微子の部屋」など多数のテレビラジオ番組に出演のほか、朗読、狂言、人形浄瑠璃文楽、和太鼓とのコラボレーション、皇太子様、雅子様への御前演奏等々、意欲的な演奏活動を行っている。さだまさし原作の映画「精霊流し」の音楽にも参加。グラミー賞を受賞したサクソ奏者、KENNY Gのジャパンツアー全公演にゲストとして呼ばれる。近年、教育活動にも積極的に取り組み、古筝教室を開き古筝の普及にも努めている。2010年、上海万博においては、オリジナル曲を中心とした音楽劇「彩虹橋」で公演を行い、故郷である上海で自身の音楽活動にエポックを画するようなイベントとなる。また、2011年4月～2015年9月、ABCラジオ「伍芳のふらっと♪阪神沿線」、2016年4月～9月、FMCOLO「中国国家観光局 ウー・ファンといっしょに中国へ」でパーソナリティを務める。2015年1月14日、震災復興への祈りをこめたオリジナル曲「あの一ととに」を発表。2015年4月15日に通算11枚目のアルバム「My Favorite Movies」を発売。同年11月、神戸市文化奨励賞を受賞。中国の古典、現代曲だけにとどまらず、様々なジャンルに挑戦する一方で、他のアーティストへの楽曲提供など、作曲活動にも力を注ぐ。

<http://wu-fang.com/>

<https://www.facebook.com/WuFangOfficial>

展覧会のお知らせ



静岡市美術館 没後150年 坂本龍馬

会期 2017年7月1日(土)～8月27日(日)

毎週月曜日休館 (ただし7月17日(月・祝)、8月14日(月)は開館、7月18日(火)は休館)

観覧料 一般1,200(1,000)円、大高生・70歳以上800(600)円、中学生以下無料

※(*)内は前売および当日に限り20名以上の団体料金 ※障がい者手帳をご持参の方およびお勤者原則1名は無料

主催 静岡市

静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団
読売新聞社、Daiichi-TV

特別協力 京都国立博物館

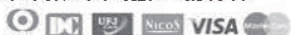
協賛 野崎印刷紙業

お問合せ 静岡市美術館 TEL.054-273-1515

チケットお取扱い

静岡音楽館AOI・インフォメーション(7F) Tel.054-251-2200 (月 休)

- 受付時間9:00～21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- 一般券以外は、静岡音楽館AOIのみでお取扱いします。
- クレジットカードでお支払いいただけます。



静岡リビング新聞社 Tel.054-255-1231 (土・日・祝 休)
チケットぴあ(Pコード: 454-142) Tel.0570-02-9999
ペイドリーム清水店、アウトシテイ浜松、ザ・スーパースタジアム浜松店、ららばーと静岡
セブンイレブン、サークルKサンクス(一部店舗・店舗を限る)など

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- 価格は税込です。
- 毎公演により内容を変更する場合があります。
- お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は受けません。
- 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- 演奏中のご入場はお控えください。
- 静岡音楽館AOIは、施設の整建上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を2階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください。1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を最優先してご案内いたします。
- 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- 未就学児はご入場いただけません。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局
合同印刷所内



●当館専用の駐車場・駐車場はありません。

□東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!

CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

開館 9:00～21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館)

〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地09

TEL 054-251-2200



一般発売
2月18日(土)より

会員先行発売
2月11日(土・祝)より



既記
サービス
※事前予約(1週間前まで)・正会員: 1人1,000円
すわん Tel./Fax.054-255-5377
(火～金 10:00～18:00)
e-mail: swan@xqj.biglobe.ne.jp
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。